

| 施策 | 小田原市の取組名又は事業名 | 内容 | 所管課 | |
|-------------------------------------|--|--------------------------------------|--|---|
| ①家庭における食育の推進 | ア 家庭の健康づくり | ママパパ学級(食育準備コース) | 妊婦を対象に、年4回、講話と調理実習を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | いきいき親子育児相談 | 保護者と就学前の乳幼児を対象に、年18回実施する。場所:市役所3回 小田原アリーナ3回 保健センター12回。身長・体重測定、育児・食事・遊びなどの個別相談を保健師、助産師、栄養士、歯科衛生士、保育士が実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 乳幼児健康診査 | 4か月児、1歳6か月児、2歳児、3歳児健康診査等で栄養個別相談、集団指導を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 所内相談 | 市民に対する母子の栄養や食事に関する相談を電話や面接で実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 母子・成人訪問指導 | 離乳食の支援、生活習慣病予防の訪問指導等を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | ママパパ知恵袋メール | 妊娠中のプレママ・プレパパから2歳までの子どもを育てている母親・父親等を対象に、登録制で、情報の伝達手段として、気軽に利用できる携帯電話やパソコンのメールを利用して、子育てに関する知識を提供し、育児不安の解消に役立っている。 | 健康づくり課 |
| | | 子育て応援講座(離乳食) | 4か月児(第1子)の母親、第2子以降は希望する母親を対象に、4か月児健康診査前に離乳食の進め方の講話や実演を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 親子教室(コアラ・カンガルー) | 幼児期の食生活の講話と簡単なおやつ作りを行う。コアラ親子教室は、母親への指導、カンガルー親子教室は親子を対象に年2回ずつ実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 食の自立支援事業 | 在宅の障害者で日常生活に支障のある方(調理、買い物等が困難な方)に対して配色サービスを行う。 | 障害福祉課 |
| | イ 調理力の向上 | きらめき☆おだわら塾 | ボランティア講師のきらめき☆市民教授によるそば打ち体験教室を開催する。 | 生涯学習政策課 |
| | | 家庭教育学級 | 地域婦人連絡協議会が魚の料理教室を開催する。 | 生涯学習政策課 |
| | | 子育て応援講座(離乳食) | 4か月児(第1子)の母親、第2子以降は希望する母親を対象に、4か月児健康診査前に実施。離乳食の進め方の講話や実演を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 健康増進教室(減塩・食物繊維・バランスのよい食事) | 60歳代までの市民を対象に、広報による公募により、年3回テーマに添った食事や栄養に関する講話も含め、調理実習を実施している。 | 健康づくり課 |
| | ウ 家庭教育力の充実 | 「おだわらっ子の約束」 | ◎「おだわらっ子の約束」 1 早寝 早起きて 朝ご飯を食べます 2 明るく笑顔であいさします 3 「ありがとう」「ごめんなさい」を言います 4 人の話をきちんと聞きます 5 もったいないことをしません 6 どんな命でも大切にします 7 決まり 約束を守ります 8 人に迷惑をかけません 9 優しい心で みんなと仲良くします 10 「悪いことは悪い」と言える勇気を持ちます おだわらっ子は、この約束を守って幸せになります。おとなたちも、この約束を、自ら守り、おだわらっ子に語り続けます。そして、輝く小田原の未来を築きます。 《基本理念》しっかりとれた身や生活規範を身につけた子どもは、幸せになれる。 おだわらっ子の約束の中で、食事の大切さの項目を入れている。 | 教育総務課 |
| | | 食育実践活動事業(保育園・幼稚園・小中学校・高校等) | 地域において食育実践活動を実施し、食生活への関心を高め、望ましい食習慣を身につけるための普及活動(保育園・幼稚園・小中学校・高校等)を小田原市食生活改善推進団体に業務を委託している。 | 健康づくり課 |
| ②学校、保育所等における食育の推進 | ア 学校における食育の推進 | 未来へつながる学校づくり推進事業 | 子どもの学びと育ちを地域ぐるみで支えていく学校づくりをめざして、小田原の良さを活用した特色ある園・学校づくりを推進する中において、食育への取組も重点項目にかかげ、子どもの食に対する正しい知識と実践力を養うものとする。 三の丸小…地域に根ざした産業と関連付けた食育の推進を図る。 早川小…農園を利用したそば作り 町田小…栽培を通じた野菜を活用した食育の推進を図る。栄養士との連携。保護者や地域との連携 久野小…地域と連携を図りながら、学校農園や畑での体験活動を通じ、将来健康で生き生きとした生活ができるよう食育の視点から推進していく。稲作・畑作の農業活動を通じた体験活動の展開 下曾我小…地域の特色を生かした教材・人材の活用。梅祭り～梅ジュース～梅干づくり 片浦小…農園活動を通じた食育の推進。地域との連携。 曾我小…食育の推進～米作り、野菜作り、収穫した野菜での調理実習 報徳小…食育の推進(学校園・学校田での栽培と収穫)野菜の栽培や田植えなどの農業体験を通じて、生産に携わる人々への感謝の心を育てる。全校児童が野菜作りを5年生が稲作を体験し、収穫した野菜やお米を学校給食の一部にするともに、もちつきを行う。野菜を使った調理実習や羊羹など人と人の交流を深めていく。 前羽小…前羽の自然から学ぶ！ふるさと学習活性化プラン～地域教育力の活用から植つくり、親子料理教室、梅干づくり、かまぼこづくり、梅ジャム、梅ジュースづくり 下中か…農園の栽培活動を通して、収穫の喜びを味わい、生ごみの再利用化、再資源化を実施し、食に対する「心のサイクル」を養う。 橋中…バスケット栽培による生物の育成と食育との乗り入れ | 教育指導課 |
| | | 学校給食試食会 | 小・中学校保護者対象に、学校栄養士による食育講話を実施している。 | 学校教育課 |
| | | 栄養士・栄養教諭による食に関する指導・授業 | 食に関する年間指導計画を作成し、教科と関連した食育授業実施している。また、授業の生きた教材として給食を活用している。 | 学校教育課 |
| | イ 学校給食を活用した食育の推進 | 地場産物使用促進 | 地元のみかん、さといも、みかん、キウイ、ほうれん草、小松菜、鰯、かます、かまぼこ製品など季節に積極的に使用している。 | 学校教育課 |
| | | かまぼこ献立の実施 | かまぼこの日(11月15日)に合わせて実施している。 | 学校教育課 |
| | | 地産地消メニューの実施 | 小田原献立、かながわ産品デーを1月に実施している。 | 学校教育課 |
| | | 学校給食食育講演会 | 学校関係者・PTA関係者対象(6月の食育月間に実施 テーマ「生きる力を育む食育」) | 学校教育課 |
| | | 親子料理教室 | 小・中学生親子対象(8月3・4・5・6日実施 地元の魚や野菜を使用) | 学校教育課 |
| | | 学校給食展 | 10月16日(土)、17日(日)にイトーヨーカドーを実施する予定である。 パネル展示・給食実物展示・野菜折り紙教室他、食育啓発活動 | 学校教育課 |
| | ウ 幼稚園における食育の推進 | 未来へつながる学校づくり推進事業 | 子どもの学びと育ちを地域ぐるみで支えていく学校づくりをめざして、小田原の良さを活用した特色ある園・学校づくりを推進する中において、食育への取組も重点項目にかかげ、子どもの食に対する正しい知識と実践力を養うものとする。 矢作幼稚園「おいしい野菜を作って、元気にしよう」 食育年間計画の見直し、栽培活動、楽しくおいしく食べるための工夫、講師招聘 | 教育指導課 |
| | | エ 保育所における食育の推進 | 発達段階に応じた食体験 | 0歳児…お腹がすき、乳を飲みたい時に飲みたいだけゆったり飲む。離乳食を喜んで食べる。 1歳児…保育者や友だちと一緒に楽しい雰囲気の中で自ら食べようと、色々な食材に触れ食べ物に興味をもつ。 2歳児…お腹がすき、楽しい雰囲気の中で食器を使って意欲的に食べる。 3歳児…色々な種類の食べ物や料理を味わう。 4歳児～6歳児…食生活に必要な食習慣や態度を身につける。野菜を栽培し収穫して感謝し食べる。自分の健康に関心をもち必要な食品を摂ろうとする。 |
| | 友だちや地域の人との会食に関わる体験 | | 世代間交流を行い地域の高齢者を招き、昔の遊びを学び一緒に食事をしながら、色々な話を聞く。 | 子育て支援課 |
| | 日本の食文化に関わる体験 | | 行事食を食べたり、行事を保育に取り入れることにより(節分・ひな祭り他)日本の文化と食事を知る。 | 子育て支援課 |
| | 生産体験活動(農業・調理) | | 自園で園児が栽培・収穫した食材を給食に取り入れ、収穫した食材を利用してカレーなどを作るクッキング保育や焼き芋大会などを行う。毎日の生活の中で野菜の皮むき、すじ取りなど、お手伝いをして、食事作りに関わる。 | 子育て支援課 |
| | 保育参加・試食会の実施 | | 保育参加の際、給食を試食してもらったり、保育参加とは別に試食会を実施して保護者へ食事についての話を行う。 | 子育て支援課 |
| 園長・保育士・調理員・栄養士による食に関する指導 | 献立を立てる・調理をする・料理を食べさせることをそれぞれの立場の職員が協力して食について関わり、子どもを育てていく。 | | 子育て支援課 | |
| 地場産物使用促進 | 可能な限り、小田原産の食材を使用する。保育園の近隣の商店から購入し、地域の中で子どもたちを育てていく。魚市場を見学し身近な地場食材に興味・関心をもつ。 | | 子育て支援課 | |
| H23年新規事業「食育の日」の周知 食育の日を通して食について考える。 | 国では6月を食育月間・毎月19日を食育の日と定めている。保育所では毎月保護者に配布する給食だよりで、食育の日について周知するとともに、食育の日には給食の献立内容に変化をつけて子どもたちが「食」について考える日とする。 | | 子育て支援課 | |
| 障害児童デイサービスにおける食の推進 | 日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練等 | | 障害福祉課 | |
| ③地域における食生活改善のための取組の推進 | ア 生活習慣病等の予防対策 | 生活習慣病予防を少なくするための減塩食と栄養バランスを考えた食生活の普及 | 地区ボランティア活動における小田原市食生活改善推進団体の自主活動の一環として実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 健康増進教室(減塩・食物繊維・バランスのよい食事) | 60歳代までの市民を対象に、広報による公募により、年3回調理実習を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 生活習慣病予防教室 | 平成22年度は5日間コースを2回実施し、高血圧をテーマに実施している。 | 健康づくり課 |
| | | すこやか健康相談 | 40歳以上(39歳以下も可)の市民に疾病別栄養相談や、健康づくりについての個別相談を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | はつらつ健康相談 | 年25回(25地区)に対し、血管年齢測定、血圧等、栄養相談を実施している。 | 健康づくり課 |

| 施策 | 小田原市の取組名又は事業名 | 内容 | 所管課 | |
|------------------------------------|---|---|---|--|
| ③地域における食生活改善のための取組の推進 | ア 生活習慣病等の予防対策 | 特定健康診査・特定保健指導 | 小田原市国民健康保険の40歳から74歳までの加入者を対象に行っている健康診査で、特定保健指導の対象者には、指導を医療機関や保健指導の委託先と連携して実施している。 | 健康づくり課 |
| | | ふれあいけんこうフェスティバル | 平成21年度は小田原栄養士会による個別相談、小田原市食生活改善推進団体による掲示物の展示や手作りレシビの配布を実施したが、平成22年度の内容は未定である。 | 健康づくり課 |
| | | 継続機能訓練(さくら会)調理実習 | 小田原市内在住の脳血管疾患後遺症者に対し、年2回、調理実習を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 地域元気アップ事業 | 運動習慣の必要性や具体的な運動方法を普及啓発することにより、運動習慣を身につけ、筋力の維持・向上および適正体重を維持し、健康寿命の延伸をはかる。健康づくりの両輪である、食生活についての知識を普及するために、希望のある地区に、出向き健康講話を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 地区栄養教室調理実習 | 健康おだわら普及員の活動の一環として、希望する地区に対し、調理実習と講話を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 高齢者栄養改善事業 | 講義と調理実習をとおして、食生活についての知識を習得することにより、生活機能の維持・向上を図り、要介護・要支援状態になることを予防する。 | 高齢介護課 |
| | イ 食に関する普及啓発 | 出前講座 | 食育や食生活改善に関する講座を依頼先にて実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 食生活改善推進団体研修 | 小田原市食生活改善推進団体の育成研修で、食生活推進員を対象に年6回程度実施している。 | 健康づくり課 |
| | | ヘルスマイト(食生活改善推進員)養成講座 | 小田原市食生活改善推進団体の推進員を養成する講座で、年間30時間の講義や調理実習を通して、食育や食生活改善を学ぶ。 | 健康づくり課 |
| | | 健康おだわら普及員定例会(地区活動(栄養教室)実施のための講習会) | 健康おだわら普及員を対象とした研修で、減塩味噌汁試飲会および調理実習と講話を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 主食・主菜・副菜が揃った食卓づくりの普及活動 | 小田原市食生活改善推進団体の自主活動の一環として実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 食の自立支援事業 | 社協が実施している配食サービスの弁当の掛け紙に、毎月1回健康についての話題を掲載している。 | 健康づくり課 |
| ④食育推進運動の展開 | ア 関係者との連携による推進 | 食育実践活動事業(保育園・幼稚園・小中学校・高校等)(再掲) | 地域において食育実践活動を実施し、食生活への関心を高め、望ましい食習慣を身につけるための普及活動(保育園・幼稚園・小中学校・高校等)を小田原市食生活改善推進団体に業務を委託している。 | 健康づくり課 |
| | | 地域でつくる健康づくり支援事業(地区栄養教室) | 健康おだわら普及員の活動の一環として、希望する地区に対し、調理実習と講話を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 糖尿病週間行事 | 栄養相談や糖尿病の予防のための調理実習を1市3町で実施している。 | 健康づくり課 |
| | イ 食育推進のための意識啓発 | 食育の日、食育月間における活動 | 小田原市食生活改善推進団体の自主活動の一環として実施している。 | 健康づくり課 |
| ウ 関連した市民運動との連携(8020運動、環境保全) | 神奈川県歯科医師会、神奈川県主催の歯の健康づくり研修会への参加 | | 健康づくり課 | |
| ⑤生産者と消費者の交流の促進及び環境と調和のとれた農林水産業の活性化 | ア 生産者と消費者の交流の促進 | 種苗放流 | 種苗を放流することにより、魚の資源についても学ぶことができる。 | 水産海浜課 |
| | | みなとまつり・動く市政教室・遠足 | 鮮魚の水揚げや市場で流通等、実際の現場での体験やビデオ学習を行い、生産者や市場関係者の取り組みを理解する。 | 水産海浜課 |
| | | 港の朝市 | 店頭での切り身でなく、実際に鮮魚そのものを見て触れることで、旬の素材を知り、鮮魚の良し悪しや調理方法の知識が得られ、かつ地産地消に繋がる。 | 水産海浜課 |
| | | 食と農の体験学習事業 | 農業体験を通じ、生産者と消費者の交流の機会を拡大する。 | 農政課 |
| | | 小田原市農産物加工品普及推進協議会事業 | 地域に根ざした農産物加工品のあり方を検証するとともに、市民に新鮮で安心・安全な地場農産物の消費拡大を図る。 | 農政課 |
| | | オーナー事業 | 都市と農村が交流する交流型農業の推進している。 | 農政課 |
| | | 市民農園 | 都市住民と農業者との交流を通じ、都市農業への理解と関心を深める。 | 農政課 |
| | | 農業まつり | 生産者と消費者の相互理解を深め、地産地消を広く紹介するとともに、収穫の喜びを分かち合い、都市農業の発展を図る。 | 農政課 |
| | | 梅の里センター・みのり館の活用 | 地域の活性化及び都市住民とのふれあいの場として活用する。 | 農政課 |
| | イ 地産地消の推進 | 男性のための料理教室 | 一般の男性を対象に、魚のさばき方を学びながら、簡単にできる料理に挑戦してもらい、できたものを食すことにより、普及を促す。 | 水産海浜課 |
| | | 小田原みなとまつりでの魚食普及イベント | 魚のおろし方の実演や魚料理の講習会を開催し、魚(アジ)を利用した料理を試食していただき、魚に親しんでもらう。 | 水産海浜課 |
| | | おでんサミット | 主催:小田原おでん会、開催日:平成22年4月3日(土)、4日(日) 概要:北は北海道から南は沖縄まで全国各地のふるさとおでんが小田原に大集合。また、おでんコンテスト新たな小田原おでん種が選ばれる。 | 産業政策課 |
| | | 小田原城名物市 | 主催:小田原城名物市開催協議会、開催日:平成22年5月3日(月)、4日(火) 概要:小田原おでんやかまぼこどっく、梅干、ひものなど小田原自産の名産品の販売や小田原ちょうちんの手作り体験を実施。また、日光市の山菜や八王子市のこけしの実演販売など各友好都市の選りすぐりの名産品も大集結する。 | 産業政策課 |
| | | 全国丼サミット | 開催日:平成22年10月2日(土)、3日(日) 概要:全国の地の食材を使った「地域おこしご当地丼」が集い、地域の魅力を発信する。 | 産業政策課 |
| | | 小田原おでんまつり | 主催:小田原おでん会、開催日:平成22年10月9日(土)、10日(日) 概要:おでんの季節の幕開けを飾る「小田原おでん祭り」。「小田原おでんコンテスト」の入選作品等新作おでん種のお披露目もあり、会場では、これらの新作おでん種をいち早く召し上がっていただくことができる。 | 産業政策課 |
| | | かまぼこ桜まつり | 主催:小田原蒲鉾協同組合、開催日:平成23年3月末の土・日(予定) 概要:小田原蒲鉾各社の製品が一堂に大集合し、普段お店に並ばない限定品の出品や板つけ・細工ものの技が見られる名人手づくり実演のほか、かまぼこを食べ比べるききかま大会やかまぼこ板を積み上げるかまぼこ板一夜城合戦などのイベントも目白押し。 | 産業政策課 |
| | | ファーマーズマーケット事業 | 地の食材を活かした地域経済の活性化や、地産地消の推進を目指す。 | 農政課 |
| | | 小田原産品のPR | 市内の農産物を市内外に広くPRするとともに、小田原市のイメージアップを図る。 | 農政課 |
| | | 旬の野菜を使った料理教室 | 旬の野菜を活かした料理を作ることで、食のあり方や望ましい食習慣を身につける機会を作る。 | 農政課 |
| | | ウ 環境に配慮した取組の推進 | 生(いき)ごみ小田原プロジェクト | 生ごみを資源として使う地域内循環の仕組みづくりのモデル事業として、市内の家庭(約1,000世帯)で生ごみを堆肥化する実証実験を行う。 |
| エ 教育ファームの推進 | 水稻栽培体験学習 | 地元小学生が田植え・稲刈りに挑戦することで、都市と農業の共生について考える機会を作る。 | 農政課 | |
| ⑥食文化の継承、展開のための活動の支援 | ア 伝統ある食文化の継承と促進 | おだわらシルバー大学 | 郷土の味や郷土料理を継承するため、授業の一環として梅料理の実習などを開催する。 | 生涯学習政策課 |
| | | 尊徳食の体験 | 尊徳祭の行事の一つとして、栢山地域の伝統的な食事を再現し、味わってもらう。 | 生涯学習政策課 |
| | | 食育実践活動事業(保育園・幼稚園・小中学校・高校等)(再掲) | 地域において食育実践活動を実施し、食生活への関心を高め、望ましい食習慣を身につけるための普及活動(保育園・幼稚園・小中学校・高校等)を小田原市食生活改善推進団体に業務を委託している。 | 健康づくり課 |
| | | 小田原産の魚を利用した食文化の伝承普及活動 | 小田原市健康づくり課で行っている調理実習であじを献立に取り入れている。さかな普及の会及び、小田原市食生活改善推進団体の自主的な活動においても、地産産物の魚の普及活動を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 食生活改善推進団体研修(再掲) | 小田原市食生活改善推進団体の育成研修で、食生活推進員を対象に年6回程度実施している。 | 健康づくり課 |
| | | ヘルスマイト(食生活改善推進員)養成講座(再掲) | 小田原市食生活改善推進団体の推進員を養成する講座で、年間30時間の講義や調理実習を通して、食育や食生活改善を学ぶ。 | 健康づくり課 |
| ⑦食品の安全性、栄養、その他食に関する調査、研究、情報提供 | ア 食の安全・安心等に関すること | くらしの講座「おいしい!安心!冷凍食品」 | 一般市民を対象とした、冷凍食品の品質・安全性等についての講座。(7月13日に開催予定) | 暮らし安全課 |
| | | 神奈川県食育ネットワーク広報の活用 | インターネットを利用した情報収集として活用している。 | 健康づくり課 |
| | イ 栄養に関すること | 小田原保健福祉事務所管内栄養業務連絡会 | 小田原保健福祉事務所保健福祉課で1市3町合同で管内栄養業務連絡会を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 神奈川県行政栄養士研修会 | 神奈川県で行政栄養士の研修会を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 食生活支援担当者等研修会 | 小田原保健福祉事務所保健福祉課で研修会を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 食育支援担当者講習会 | 小田原保健福祉事務所保健福祉課で講習会を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 健康おだわら普及員定例会(再掲)(地区活動(栄養教室)実施のための講習会) | 健康おだわら普及員を対象とした研修で、減塩味噌汁試飲会および調理実習と講話を実施している。 | 健康づくり課 |
| | | 食生活改善推進団体研修(再掲) | 小田原市食生活改善推進団体の育成研修で、食生活推進員を対象に年6回程度実施している。 | 健康づくり課 |
| ヘルスマイト(食生活改善推進員)養成講座(再掲) | 小田原市食生活改善推進団体の推進員を養成する講座で、年間30時間の講義や調理実習を通して、食育や食生活改善を学ぶ。 | 健康づくり課 | | |